ライブラリー

2026.9
《令和８年９月17日発行》

福崎町立図書館 図書館だより No.１２７

福崎町西治３６０番地１ TEL. 0790-22-3790
https://www.town.fukusaki.hyogo.jp/library/

秋はゆったりおうち時間

『型いらず、手間いらずの
ちょこっとおやつ』
（浜内千波 著 日本文芸社
596.6／ハ）

『甘酒のほん』
（藤井寛 著 山川出版社
588.5／フ）

最近は秋が短くさらに暑い。でも少しずつ夏の姿が消えていき、秋が顔を出してきているように感じます。外出しやすい時期になりますが、あえておうちでゆっくりして夏の疲れを癒すのもいいですね。動画やテレビを見るのもいいですが、デジタルデトックスもこみで、あたたかい珈琲や紅茶、好きなお茶をのみながら『読書をする時間』にしてみてはどうでしょうか？おうちでおいしい飲み物を入れるコツや、お茶請けにもってこいの簡単おやつの作り方の本もあります。飲む点滴と言われているこうじ甘酒などの発酵食品を作ってみるのもいいかもしれません。とくに甘酒は手軽に作れるうえに、美容にもいいと言われています。夏の間に受けたダメージを心と体の両方から癒す「おうち時間」を過ごすために今回紹介する本を参考にしてみてください。

『理由がわかればもっとおいしい！
コーヒーを楽しむ教科書』
（井崎英典 監 ナツメ社 596.7／リ）

『かんたんでおいしい 砂糖なしおやつ』
（山田奈美 著 小学館 596.6／ヤ）

『お茶の時間』
（暮らしの図鑑編集部 編 翔泳社 596.7／オ）

図書館カレンダー

※行事・イベントは変更や中止になる可能性があります。
※ ［　］ は休館日です。

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1 資料整理日	2	3
4	5	6	7 えほんのじかん 11：00～	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17 おはなし会 11：00～
18	19	20	21	22	23	24 子ども映画会 14：00～
25	26	27	28	29 フクちゃん読書の日	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 資料整理日	6	7
8	9	10	11	12	13 えほんのじかん 11：00～	14
15	16	17	18	19	20	21 おはなし会 11：00～
22	23	24	25	26	27	28 子ども映画会 14：00～
29 フクちゃん読書の日	30					

図書館からのお知らせ

２０２３年度から導入した「読書おもいで帳」はたくさんの方にご利用いただいています。一冊目が終わった方全員に記念品をお渡ししています。終わった読書おもいで帳を持ってカウンターまでお越しください。一冊２００円で販売していますので、まだお持ちでない方はぜひご利用ください。

図書館おすすめの一冊

お寺に住む小学５年生の晴空の家で、しばらく会っていなかったいとこのさくらと一緒に過ごすことになります。内心困っていた晴空ですが、二人で過ごしていると不思議なことが次々と起こりだして・・・。一話ずつひとつの謎があり、その謎を解いていく謎解きミステリー小説になっています。児童書ですが、大人でも楽しめるので謎解きに挑戦してみてください。

『謎ガタリ』

（山下みゆき　著　Gakken　児９１３／ヤマ）

こどものほん

・2年生　3・4年生　5・6年生

おまつり

『さかさまつり』（つきおかゆみこ　著）

今日は世にもふしぎな「さかさまつり」の日。たこやきも、金魚すくいも全部さかさまだ！おばけやしきもさかさまで怖くないと思ったら・・・。さかさまつりって楽しいね。

『まつり』（いせひでこ　作）

さえらはパリの植物学者の先生にちんじゅの森のおまつりを案内します。まつり屋台の組み立て、飾りの彫刻掘り、準備が進むにつれて心も弾みます。提灯に火がともり、太鼓の音が響だし、そしてついにおまつりが始まります。

『ズッコケ三人組の神様体験』（那須正幹　作）

すたれてしまった花山神社の秋祭りを盛り上げるため、ハチベエたち三人や町の人も色々な案を考えます。そして戦後にすたれた稚児舞が復活することになり、ハチベエも参加することになるのですが・・・。

『行ってみたい！日本の祭り』（日本の祭りの会　編）

日本の祭りには、たくさんの観光客が集まる祭りもあれば、地元の人だけで行う祭りもあります。どんな祭りにも生まれた「なりたち」があります。祭りに込められた想い、願い、祈りを知ることが日本の祭りという文化を残していくための役にもたちます。日本各地にはどんな祭りがあるかな。

エドワード・ゴーリー　ほんだな

１９２５年、シカゴで生まれたエドワード・ゴーリーは、独特の韻を踏む文字に、モノクロで描かれた繊細だけれどもユニークで不気味な絵の作品をたくさん発表しています。絵本の内容も、教訓や教えなのか？と思うような残酷な内容のものも多く「大人の絵本」として人気があり、多くの熱狂的なコレクターがいます。「不幸な子供」という作品は何も救われず、ただただ悲しい結末のお話です。でも悲しいけれど現実は苦労した人が絶対報われる優しい世界ではありません。なんだかそう考えるとストンと心に入り込んで納得する内容でした。好き嫌いが分かれるとは思いますが、いちどは読んで欲しい作家さんです。

『不幸な子供』
（エドワード・ゴーリー　著　河出書房新社　８３７．７／ゴ）

『ずぶぬれの木曜日』
（エドワード・ゴーリー　著　河出書房新社
７２６．６／ゴ）

ＹＡ図書おすすめ本

「転生したらスライムだった件」や「薬屋のひとりごと」「負けヒロインが多すぎる！」などのアニメを見たことがありますか？これらには原作本があり、福崎町立図書館では YA コーナーに置いています。アニメも面白いですが、小説ではアニメより詳しく状況が書かれていたり、アニメにはない場面があったりと、原作ならではの楽しみがあります。アニメよりもお話が進んでいるので続きが気になる！と思っている人はぜひぜひ小説を読んでみてください。

『転生したらスライムだった件』
（伏瀬　作　マイクロマガジン社　Ｂ９１３／フセ）
『薬屋のひとりごと』
（日向夏　著　主婦の友社　ＢＦ／ヒュ）
『負けヒロインが多すぎる！』
（雨森たきび　著　小学館　ＢＦ／アマ）